

## Press Release

### 中期経営計画「変革への挑戦」策定

～DX 新市場開拓、事業領域深耕拡大、収益安定性向上、人材・組織力強化、4つの重点施策を推進～

株式会社データ・アプリケーション(本社:東京都中央区、代表取締役社長:安原 武志、略称:DAL、JASDAQ:3848)は、2021年4月～2024年3月の中期経営計画を策定したことをお知らせいたします。中期経営計画「変革への挑戦」は、①DXをはじめとした新市場開拓、②製品エンハンスやサービス拡充による既存市場周辺への展開含めた事業領域深耕・拡大、③リカーリングビジネス推進による収益安定性の向上、④教育・労働環境を整備し、優秀な人材の採用と育成による人材・組織力強化の4つの重点施策を軸に変革へ挑戦し、持続的な成長を実現して参ります。

新型コロナウイルス感染症の感染が世界中で拡大するなか、世界の多くの企業で、テクノロジーの活用による、業務の効率化やユーザー対応の高度化、いわゆるデジタルトランスフォーメーション(DX)が一気に進んでいます。企業はDX実現に向け、限られたリソースでこれらの課題に対応するため、クラウドシフト、サービスシフトは一層加速しています。そのようななか、当社はEDIミドルウェア市場No.1という豊富な実績をベースに戦略製品であるエンタープライズ・データ連携基盤「ACMS Apex」、データハンドリングプラットフォーム「RACCOON」を中心に、データ・インテグレーションマーケット(データ連携市場)を開拓・推進して参りました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症による世界情勢の変化に伴い市場環境に大きな変化が生じました。さらに、リモートでの活動が中心となったことによるビジネスパートナーの営業活動変容も踏まえ、2019年3月に発表した中期経営計画を取り下げ、今回再策定しました。

中期経営計画「変革への挑戦」の基本方針は以下の通りです。

#### ■ 基本方針

研究開発や技術探求に加えて、他社との協業等を実行しつつ、DXをはじめとした新たな市場開拓を行い、企業成長の方向性を広げる

継続的な製品機能のエンハンスや提供サービスの拡充等により、既存事業の周辺市場への展開を含め、事業領域の拡大深耕を目指す

サポートサービス品質を上げ、解約率の低減と顧客満足度の向上を図りつつ、リカーリングビジネスを推進し、収益安定性の向上を目指す

教育・労働環境を整備し、優秀な人材の採用・育成に努め、企業としての持続的成長の実現を図る

2024年3月期の数値目標は、総売上高25億円、サブスクリプション売上高は3倍(2021年3月期実績比)、営業利益3.5億円です。尚、サブスクリプション推進については、ソフトウェア(売り切り)の提供に対して、短期的な売上の減少になるものの、期ずれなどの影響を受けにくく、顧客の導入障壁が低いことから、安定収益源となります。

また、株主還元方針は、財務体質の強化と長期的な企業価値の向上をふまえ、株主資本配当率(DOE)3.5%を目安に長期的・安定的な配当の維持を目指します。

DALは、働き方改革などをはじめとした様々な社会変化に対し、「ACMS Apex」・「RACCOON」・紙文書のデジタル化とデータ変換、業務システムへの連携をオールインワンで行うことができる「OCRtran」などを中心にお客様のDXを成功に導きながら、「データと一緒にワクワクする未来」を実現すべく、新市場でもマーケットリーダーを目指します。

以上

◆中期経営計画「変革への挑戦」

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/3848/tdnet/1968133/00.pdf>

◆HP/投資家の皆様へ

<https://www.dal.co.jp/ir/>

◆「ACMS Apex」製品概要

<https://www.dal.co.jp/products/di/apex/outline.html>

◆「RACCOON」製品概要

<https://www.dal.co.jp/products/dhp/raccoon/outline.html>

◆「OCRtran」製品概要

<https://www.dal.co.jp/acms/ocrtran/>

【株式会社データ・アプリケーション(DAL)について】

DALは、1992年にUNIX向けの製品をリリースして以来、EDI(電子データ交換)を中心にデータ連携分野において信頼性の高いパッケージソフトウェア「ACMS(Advanced Communication Management System)シリーズ」を提供してきました。「ACMSシリーズ」は、国内のEDIパッケージ市場でリーダーシップを確立しており、すでに2400社12500サイトを越える企業のミッションクリティカルなシステムで稼働しています。ビジネス変化に強く、新たなイノベーションを生み出す企業のデータ連携ソリューションを今後も提供してまいります。

【HP】<https://www.dal.co.jp/>

【Facebook】<https://www.facebook.com/DataApplications/>

【Twitter】[https://twitter.com/dal\\_acms](https://twitter.com/dal_acms)

【本件についてのお問い合わせ先】

経営企画管理本部
E-Mail: <a href="mailto:ir@dal.co.jp">ir@dal.co.jp</a>

※本プレスリリースに関するお問い合わせは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、在宅勤務推奨中によりメールにてお問い合わせいただきますようお願いいたします。大変恐れ入りますが、ご理解のほどお願い申し上げます。

※DAL, ACMS, ACMS Apex, AnyTran, E<sup>2</sup>X, WebFramer, RACCOON は、株式会社データ・アプリケーションの日本および海外での商標ならびに登録商標です。

※本文中に記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。